

<総合問題>

総合問題

(総合問題 1)

次の事例を読んで、問題 114 から問題 116 までについて答えなさい。

[事 例]

Jさん(80歳、男性、要介護2)は、2年前に脳梗塞(cerebral infarction)を起こして、左片麻痺ひだりかたまひになった。Jさんは、自宅で妻(80歳)と過ごしたいと訪問介護(ホームヘルプサービス)を利用して、二人で暮らしていた。

Jさんは、数か月前に肺炎(pneumonia)を起こして入院した。炎症症状は消失したが、MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)を保菌した状態で退院した。

退院後のJさんは、なんとか立位がとれる状態である。排泄はいせつは、ポータブルトイレを利用して、妻が介助している。尿意はあり、1日の尿の回数も正常である。しかし、日たが経つにつれて、妻には日に何回も行う立ち上がりや、ズボンや下着の上げ下ろしの介助は負担になり、時間がかかってJさんが失禁してしまうことも増えてきた。

問題 114 妻は、JさんがMRSAの保菌者であることを気にしていた。

妻が日常生活で留意する点として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 Jさんの食器は別にして洗浄する。
- 2 手洗いと手指の消毒を行う。
- 3 介助するときは、使い捨ての予防着を着用する。
- 4 Jさんの衣類は別にして洗濯する。
- 5 ポータブルトイレは、10%の次亜塩素酸ナトリウム溶液で消毒する。

問題 115 Jさんに該当する排尿障害として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 溢流性尿失禁
いつりゅうせいにようしっきん
- 2 腹圧性尿失禁
- 3 反射性尿失禁
- 4 切迫性尿失禁
- 5 機能性尿失禁

問題 116 妻の介護負担は増してきている。妻は自分も高齢なことから、介助ができなくなったときにどうすればいいのか心配になってきた。通ったり、泊まれたり、自分の体調不良時にも自宅を訪問してくれるサービスを利用したいと考えている。妻の希望に沿ったサービスとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 通所介護(デイサービス)
- 2 短期入所療養介護
- 3 小規模多機能型居宅介護
- 4 地域密着型特定施設入居者生活介護
- 5 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

(総合問題 2)

次の事例を読んで、問題 117 から問題 119 までについて答えなさい。

[事 例]

Kさん(88歳, 男性)は, 妻(82歳)と二人暮らしであった。5年前にアルツハイマー型認知症(dementia of the Alzheimer's type)と診断された。1年ほど前から, 会話がかみ合わなくなった。離れて暮らす一人息子のこともわからなくなり, 「会社に行く」と外出して行方不明になることがあった。そのため, 自宅での介護が困難で, 半年前に認知症対応型共同生活介護(グループホーム)に入居した。入居時は表情が陰しく精神的に不安定で徘徊がたびたびみられた。しかし, 事業所内で取り組んでいた回想法に参加すると, 徘徊はみられなくなってきた。

ある日の午後, 「痛い, 痛い」と繰り返しながら足を叩いて, 床に座り込む様子が見られた。

問題 117 Kさんが痛みを訴えて床に座り込んだ時点で, 介護福祉職がとる対応として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 いつからどのように痛いのか, 詳しく質問する。
- 2 全身の状態を観察する。
- 3 嘔気の有無を質問する。
- 4 叩いている部位に湿布を貼る。
- 5 ベッド上で安静にしてもらう。

問題 118 Kさんが痛みを訴えてから数日後の入浴時に、Kさんの右頸部から背部にかけて帯状の水疱を伴う発赤疹が確認された。病院を受診すると、帯状疱疹 (herpes zoster) と診断された。

介護福祉職がKさんのからだの清潔を保つための方法として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 冷たい水で清拭をする。
- 2 乾布清拭をする。
- 3 ぬるめのお湯でシャワー浴をする。
- 4 熱めのお湯で入浴をする。
- 5 アルコールで清拭をする。

問題 119 病院を受診した日の夜中にKさんが、「仕事に行かないと怒られる」と興奮した口調で部屋から出てきた。介護福祉職がKさんの不安な思いを受け止めると、入眠した。しかし、30分後に再び、「会社に行く」と興奮する様子が見られた。

興奮しているKさんへの介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 会社は休みだと言う。
- 2 早く寝るようにと言う。
- 3 怒られることはないと言う。
- 4 仕事をしていた時の話をする。
- 5 息子の話をする。

(総合問題 3)

次の事例を読んで、問題 120 から問題 122 までについて答えなさい。

〔事例〕

Lさん(25歳, 男性, 障害支援区分5)は, 大学2年生の時, 交通事故が原因で頸髄損傷(cervical cord injury)となった。現在は毎日, 居宅介護を利用しながら, 母親と生活している。

Lさんは四肢麻痺のため自分で体を動かすことができずに, 多くの時間をベッドで過ごしている。リクライニング式車いすに移乗するときは, 移乗リフトを使用している。Lさんは, 母親の腰痛が悪化していることを知っているので, 母親に介助を頼むことを遠慮している。そのため, 介護福祉職が来たときに, リクライニング式車いすに乗せてもらっている。Lさんは車いすで座位になると, たびたび起立性低血圧で気分が悪くなる。

日中はマウススティックを使用して, パソコンで友人とメールのやり取りを楽しんでいる。最近パソコン教室に週1回は通いたいと考えて, 「長時間の外出時の移動の介護をお願いしたいがどうしたらよいか」と介護福祉職に相談した。

問題 120 Lさんの現在の生活状況から, 今後, 発症する可能性が高いものとして, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 てんかん(epilepsy)
- 2 仮面様顔貌
- 3 構音障害
- 4 安静時振戦
- 5 褥瘡じよくそう

問題 121 Lさんがリクライニング式車いすで起立性低血圧を起こしたときの介護福祉職の対応として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 背もたれを倒す。
- 2 頭部を冷やす。
- 3 体温を測る。
- 4 衣服を調節する。
- 5 ベッドへ移乗する。

問題 122 介護福祉職は、Lさんがパソコン教室に通うことができるように、相談支援専門員にサービス等利用計画の変更を相談したいと考えている。

Lさんが利用できるサービスとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 同行援護
- 2 行動援護
- 3 重度訪問介護
- 4 自立訓練事業
- 5 成年後見制度利用支援事業

(総合問題 4)

次の事例を読んで、問題 123 から問題 125 までについて答えなさい。

〔事 例〕

Mさん(19歳, 男性)は, 染色体の異常による疾患で知的障害がある。特別支援学校の卒業後, 自立した生活を目指して, 両親から離れて, 共同生活援助(グループホーム)を利用している。日中は, 一定期間(おおむね 24 か月を標準とする)必要な訓練を受けることのできる日中活動のサービスを利用して, 生産活動の訓練, 職場体験の機会の提供などを受けている。

Mさんは, 毎朝, このグループホームから駅まで歩いて, 電車で日中活動の場所まで通っている。Mさんは, 楽しそうに生き生きと訓練に励んでいる。

問題 123 Mさんの知的障害の起因疾患として, 正しいものを1つ選びなさい。

- 1 脊髄小脳変性症 (spinocerebellar degeneration)
- 2 脳出血 (cerebral hemorrhage)
- 3 筋萎縮性側索硬化症 (amyotrophic lateral sclerosis : ALS)
- 4 ダウン症候群 (Down's syndrome)
- 5 脊柱管狭窄症 (spinal stenosis)
せきちゅうかんきょうさくしょう

問題 124 Mさんが利用している日中活動のサービスとして、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 就労移行支援
- 2 自立訓練(生活訓練)
- 3 就労継続支援A型(雇成型)
- 4 就労継続支援B型(非雇成型)
- 5 地域移行支援

問題 125 ある朝、介護福祉士であるA世話人がMさんの部屋をのぞくと、グループホームを出る時間を過ぎていたが、まだ寝ていた。「今日は行かないの」と尋ねると、「日中活動がつまらないから行かない」と言いながら、布団をかぶってしまった。

A世話人のMさんへの対応に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 両親に連絡して、日中活動に行くように話してもらう。
- 2 日中活動の楽しさについて話し合う。
- 3 日中活動の重要性について話し合う。
- 4 日中活動がつまらないと思う理由について話し合う。
- 5 気分転換に映画を見に行くことを勧める。